

これまで検討してきた野々市市の特徴や今後の課題などを踏まえ、今後10年のまちづくりのあり方、10年後に実現したい野々市市の姿をわかりやすく示すため、将来都市像を次のとおり定めます。



「インパクトシティ」には

さまざまな魅力が
市の中に入っている

=

i n(イン)

インパクトを
多くの人に与える
可能性をもっている

=

インパクト

県内一面積が小さい

=

コンパクトなまち

という意味が込められています。

野々市市は、暮らしに必要な機能や、数々の大学、歴史や文化を感じさせる街並みなど、さまざまな魅力がコンパクトな市域に入っています。この魅力は、市民みんなで磨いていくことで、さらに輝きを増し、市内外の人に大きなインパクトを与えられる、無限の可能性をもっています。

市民の力でコンパクトなまちの中に魅力が詰まった『インパクトシティ』にしていくことで、自分が野々市市民であることにプライドをもつことができ、ますますまちづくりに参加したくなるような、かがやきあふれる野々市市をめざします。

この将来都市像の実現に向けて、分野ごとの大きな柱となる基本目標を定め、将来都市像の実現に向けた具体的な取組と、基本的な姿勢を基本計画で示していきます。



第二次総合計画を象徴するロゴ



市の公式キャラクター「のっティ」と、市の花木である椿（ツバキ）をモチーフにしたアイコンです。

使用している各カラーは、8つある基本目標それぞれをイメージしたカラーで構成されています。